

会 議 報 告 書

【会議の概要】

会 議 名：令和4年度第2回加古川市障害者自立支援協議会

日 時：令和5年2月10日〔金〕13時30分から14時30分まで

場 所：加古川市役所 北館 4階大会議室

議 題：〔1〕災害時等の避難行動要支援者に係る個別避難計画

〔2〕各専門部会の令和4年度活動報告及び令和5年度活動方針の報告

〔3〕その他

出 席 者：委員11名、市〔事務局〕8名

欠 席 者：委員4名

公開・非公開の別：公開〔傍聴者：2名〕

配布資料：別紙NO.1 次第

別紙NO.2 加古川市障害者自立支援協議会 委員名簿

別紙NO.3 災害時の避難行動要支援者に係る個別避難計画について

別紙NO.4 加古川市障害者自立支援協議会各専門部会 令和4年度活動報告と令和5年度活動方針

【協議の概要】

（1）災害時等の避難行動要支援者に係る個別避難計画

制度等の概要説明と現在の取組状況について事務局より報告を行った。

（2）各専門部会の令和4年度活動報告及び令和5年度活動方針の報告

基幹相談支援センターより、令和4年度の加古川市障害者自立支援協議会各専門部会における活動報告及び令和5年度の活動方針の報告を受けた。

以 上

司会] 事務局、 議長] 会長

1 開 会

《事務局より配付資料の確認》

2 議事〔1〕災害時等の避難行動要支援者に係る個別避難計画について

事務局より説明。

《以下、意見交換の内容》

[会長]

事務局より説明、報告が終わりました。

ここまでの内容について、何かご質問等ございませんでしょうか。

なお、ご発言される場合、挙手にてお願いします。

よろしいでしょうか。特にないようですが、事務局の方から何かありますか。

[事務局]

事前にご質問いただいた内容もございますので、お願いしたいと思います。

[委員]

事前に質問をさせていただいているものがありますので、順番に質問したいと思います。

一つ目は3ページにあります、避難行動要支援者名簿の登録というところがあるんですが、保健所の場合、難病の方に関わることがあるんですが、難病で自力での避難が難しい方については、基本的にご本人、ご家族からの希望で名簿に登録されるということでしょうか、というのが一つ目の質問です。

ご本人、ご家族からの申し出によって、名簿に登録される方の周知をどのようにされているのか、現状も教えていただけたらと思っております。

[事務局]

失礼します。

現状としては、ご本人やご家族からの希望により名簿に登録される場合の周知なんですけれども、（避難行動要支援者登録書兼同意確認書を）市の防災対策課であったり、障がい者支援課の窓口、また、市民センターの窓口等に設置するほかですね、ホームページ等でも周知を行っておりますが、実際には、町内会長さんだったり、担当福祉専門職の方から、この人も必要じゃないかということでご紹介いただいたりとか、ご推薦いただいたりして登録するケースが多いので、出前講座等の際にもですね、制度の周知を図って、必要な方がいればご紹介してくださいという案内をさせていただいている状況になります。

[委員]

ありがとうございました。続いて質問よろしいでしょうか。

4ページに、福祉専門職の計画作成についてということが書かれているんですが、ケアマネージャーさんとか相談支援専門員さんが計画を作成されるとあるんですが、日頃からご本人さんを支援されている顔見知りの方が計画されるというところに、今後、繋げて行かれるということなんですか。全然関係のない方が作成されることもあるのかということをお尋ねしたいのと、それに関連しまして、今後も継続して福祉専門職の方を対象に研修もされるのでしょうか。今後の計画なども教えていただけたらと思っております。お願いします。

[事務局]

実際に本人の支援を担当していただいている相談支援専門員の方に計画を作っていただいております。

今後の取り組みについては、防災対応力向上研修は、令和5年度も兵庫県社会福祉士会が主催されるということを確認しております。

相談支援事業者に対しまして、防災と福祉の連携による個別避難計画作成促進事業への協力依頼と、防災対応力向上研修の周知を引き続き行って参りたいと考えております。

[委員]

ありがとうございました。

次々に質問しまして申し訳ありません。

次5ページなのですが、計画の方法ということでセルフプラン方式と書いてあるんですが、これはご自身で自分の計画を作成するという理解でよろしいですか。

[事務局]

そうですね、ご自身であったりとか、ご家族であったりとか、福祉専門職の方の手を借りてということもあるんですけども、基本的にはご自身主体で作っていただくような計画になります。

[委員]

そうしましたら、ご自身とかご家族の方が自主的にこれを作りますと言われる方はどれぐらいいらっしゃるんですか。

[事務局]

今、5,500名ほどがセルフプラン方式で計画を作成いただいているような状況になります。

[委員]

ありがとうございます。

すごくたくさんいらっしゃるということで、5,500名ですね。

[事務局]

そうですね、はい。

[委員]

わかりました。

計画いただいたものをどなたかに見ていただくということは含まれるんですか。

[事務局]

基本的に計画を我々に提出いただいて、それを地域の町内会長さんに提供させていただくんですけども、その中で我々も気になるところは修正をさせていただいたり、ちょっと連絡させていただいて直したりというのはございます。

[委員]

わかりました。

次の質問にも関連しているんですが、次7ページに町内会の反発が強かったということとか、受け取り拒否もありましたということなのですが、ご自身でプランを立てられるにあたりまして、近隣との協力だったりとか、避難されるにあたって近所の方の力を自分たちで「貸してほしいです」ということで、「避難のときは声をかけさせてもらいますけど」というふうに自主的に言われている

様子は見受けられるのでしょうか。

[事務局]

そうですね、実際なかなか声をかけにくいということで、ご相談をいただいているんですけども、町内会さんによっては、この名簿を提供させていただいたことによって、訪問していただいたりとかして、実際繋がりが持てるケースはございますが、それも地域差が正直ありまして、そうされているところもあれば、まだそこまでいっていないような地域もあるというような状況になります。

[委員]

自分たちで近隣の方に声を掛けられるというのはすごいことかなと思ひまして、なかなか自分のところに介護が必要な人がいるんですとか、こんなことで困ってますというのを言いにくいというようなことをよくお話を伺いますので、それを自分たちで言える関係を近隣の方と築いていくには、日頃からの近隣とのおつき合いがすごく大事になるかなと思ひまして、その辺りが地域に広がっていくと、この受け取り拒否というところがだんだん少なくなるのかなと思ひました。ありがとうございます。

すいません、あと二つあるんですが、15 ページです。

15 ページに具体的に個別避難計画の避難先という欄がありまして、どこに避難するかということを書いていただく欄がありますが、身体の状態とか介護の状態から、福祉避難所に避難することが望ましい方もいらっしゃると思ひれます。

現状の計画で福祉避難所にどれぐらいの人数が受入可能なのか、今の計画などを教えていただきたいと思ひます。お願いします。

[事務局]

現状としては、福祉避難所の受入人数というところは検討中でして、というのも令和4年4月に、加古川市福祉避難所設置基準及び運営マニュアルを作成しまして、今協定を締結している福祉施設が32施設あるんですけども、そちらに説明会を行いました。

基本的に福祉施設の受け入れというのが、現在入所されている方がおられますので、そういうスペースというのが埋まっているような状況とすると、共有スペースは食堂や、廊下とか、そういったところでの受け入れが想定されるのかなと思ひているんですけども、今後そういう方には、訓練を実際実施してみたいと思ひます。

[委員]

ありがとうございました。

今いらっしゃる入所の方のことなど、調整が必要であるということで、これからということでもろしくお願いいたします。

あと最後なんですけど、19 ページに書いてあります、町内会、近隣の協力が得られるための働きかけをこれからもされるということで、先ほどもお話しさせていただきましたが、実際に避難計画を作られて訓練もされているという事例もご紹介いただいておりますので、これを具体的にするとところで避難計画がより内容の濃いものになったりとか、実効性の高いものになるということで、

とても良い取り組みであると感じました。

これに関連しまして、先ほどからお話させていただいてます近所の方の協力というのはもう欠かせないというところで、モデル地区以外にも、どのように取り組みをこれから広げていかれるのか、今お考えとか検討されていることがありましたら教えていただきたいと思います。

[事務局]

こちらで検討中のところがとても多いんですけれども、やはりおっしゃるとおり地域の繋がりとこの部分がすごいポイントになってくると思っております、地域でもやはり防災についての意識というところで、毎年防災訓練をされてるようなところであれば、比較的訓練まで進みやすいですけれども、それがされてない地域であれば、出前講座を我々してるんですけれども、こちらにですね、ご本人さんとか、ご家族さんもお声掛けさせてもらって、一緒に参加してもらって、訓練とまでは行かないんですけれども、まずは一緒に防災について考えていただく機会を持つというようなアプローチで、まずはきっかけづくりというところから考えております。

[委員]

ありがとうございました。

ご本人、ご家族も参加されるという働きかけをされるなどすごい前向きにご検討されて、それがまた広がると本当によいかなというふうに感じました。

ありがとうございます。

[会長]

はい。ありがとうございました。

他に、お願いします。

[委員]

失礼します。

とてもすてきな報告ありがとうございました。改めて福祉専門職と地域とそしてご本人、ご家族が一緒になって避難を考えるってすごく大事なことだと考えることができました。ありがとうございました。

そんな中でわたしの所属する法人自体が高砂にあるんですが、いつだった記憶が曖昧ですが、ちょうどうちの法人のある場所の裏山が火事になって、入所施設の全員が避難したということが、つい先だってあったわけなんです、そんな中で、避難先をどうするかと考えたときに、やはり知的障害の方、自閉症の方が、一般的な公民館に避難というのが最初出てきたんですけれど、なかなかやはり難しいなということがありまして、実際には同じ法人内で少し離れたところに通所施設があったので、そこに全員が避難して、避難生活を送ることができたんですが、実際に避難するとなったときに、自閉症の方、発達障害の方、それから医療的ケアのある方たちの避難先を考えたとときに、やはりなかなか皆さんと一緒に生活するのがしんどいだろうなというのは、その時に改めて思うことがあったんです。

ですのでまた、そういったことも含めて、この避難計画をもとにその方が避難したときのその避

難先のことも想像を一緒にさせていただきながら、一緒に考えることができたらいいなと思いました。

それから、最近医療的なケアのある方の親御さんと話す機会がよくあるんですが、災害の話が出るたびに、「私のところは避難できないと思います。もうここにずっと残っております。」みたいな話がよく聞かれます。

そういったときに、避難するということが大前提でありながら、自宅で過ごしていく、倒壊しそうなご自宅だと難しいとは思いますが、その家から出られないという方たちもおられる中で、何かこう、支援物資などが届くようなシステムとかができたらいいなっていうのも、改めて思いました。今回、本当にすごく加古川市さんは先駆的にされていていいなという中で、改めてそのあたりもまた、福祉専門職と一緒に考えていけたらいいなと思いましたので報告させていただきました。

[会長]

貴重なご意見ありがとうございました。

他にはよろしいでしょうか。

[事務局]

すみません、事務局の方からよろしいでしょうか。

本日欠席になっている委員より事前にご意見を頂戴しておりますので、ご紹介させていただきたいと思います。

「資料の4では、事例紹介があり、参加することによって気が付くことが多かったとのことです。今後もシミュレーションを重ねていただき、冬季、夏季の別や、時間帯、日中・夜間、あるいは、台風などの風水害、地震などによる避難、その他の事情による避難、戦争や噴火、なども視野に入れていただき、徐々に計画も細部に、あるいは深めていっていただければと思います。」というご意見をいただいております。

あともう1点ですね、こちらも本日ご欠席の委員の方からになるんですけども、レジメの方の9ページなんですけど、制度の概要を書かせていただいたパンフレットを紹介しているんですけども、その左下の方に、避難行動要支援者の要件というのがあるんですけど、その点について、1. 要介護3以上の人、2. 身体障害者手帳1、2級を所持する人（心臓、じん臓機能障害を除く単独障害に係るもの）3. 療育手帳Aを所持する人、4. 精神保健福祉手帳1級を所持する人、5. 70歳以上の寝たきりの人、6. 75歳以上のひとり暮らしの人、7. 上記のほか、避難支援が必要な人と記載されております。この点について、「避難行動要支援者の対象に先ほどのようなものが挙がっていますが、医療的ケア児が念頭に上がっていない印象を持ちます。7を、「上記のほか、避難支援が必要な人（医療的ケアを必要とする方など）」と、（ ）部分の追記をいただけたらと考えました。」というご意見もいただいております。

紹介は以上になります。

[会長]

はい、ありがとうございました。

他にはよろしいでしょうか。

特にないようですので、今回の委員の皆様のご意見等を、今後の計画作成に生かしていただきたいと思えます。

事務局からは特にないでしょうか。

[事務局]

はい。大丈夫です。

ありがとうございました。

また先ほどの委員の皆様のご意見を参考に、今後の計画作成や、実際の避難支援等に取り組んで参りたいと思えます。

ありがとうございました。

議事〔2〕各専門部会の令和4年度活動報告及び令和5年度活動方針の報告
基幹相談支援センターより報告

《以下、意見交換の内容》

[会長]

ありがとうございます。

コロナの影響で思うように活動ができなかった点もあったように思いますが、ここまでの内容について、委員の皆様方から、何かご質問等ございましたら、挙手にてお願いしたいと思えます。

よろしいでしょうか。

[委員]

すみません、1点だけ。

コロナのこともあったので、なかなか活動が難しかったと思えますけど、報告の中で本当に活発にいろんなとてもすてきな活動をされていらっしゃるなと思っております。

私、東播磨の圏域コーディネーターということで、3市2町の自立支援協議会それぞれに参画させていただいておまして、このたび2月15日に、3市2町の自立支援協議会の連絡会というのをさせていただくことになっております。

その中で、それぞれ3市2町の様々な取り組みを共有しながら、そしてその共有を踏まえてですね、市町だけではなかなか解決しにくい課題などを、一緒に共有して、そういった課題を圏域の協議会、それから県の協議会に挙げていくようなことを考えておりますので、実際に加古川市の自立支援協議会でいろいろ意見交換して、非常に皆さん悩まれながら、そして、元気をもらいながらされてる活動が、しっかりといろんなところと繋がりがりながら進めていくことができるかなと思えますので、引き続き様々な活動を期待しております。

よろしく願いいたします。

[会長]

はい。ありがとうございました。

よろしいでしょうか。

どうぞ、ご遠慮なく。

[委員]

失礼します。

事業所意見交換会というのを開催されたということなんですけれども、育成会では、学校と事業所をつなぐということで、年に1回事業所説明会というのを開催させていただいています。

ただ、昨今すごく事業所が増えてしまって、私たち小さい団体で開催するというのは、準備、会場等の設営などもとても大変なんです。

学校の先生や事業所の方々には、ここで皆さんの顔を合わせて、直接一遍にお話できてとても助かってますということで、評価はすごくいただいている、コロナでいったんできなかつたんですけれども、ぜひ来年は開催してくださいということで、本年度開催に至ったんですけれども、一団体だけで計画するのではなく、できれば、他の地域では事業所説明会というのは自立支援協議会の中で計画していただいている地域もあるので、できれば、一緒にできることがあればと思って、お願いしたいなと思います。まずどう繋がっていいのかわからない状態でもあるんです。子どもさんの数も増えていますし、事業所の数もすごく増えているので、私たちだけでは把握できないことが多々ありますので、できればもっと発展させて、当事者も参加できるような会であればいいかなと思いますのでよろしく願いいたします。

[センター]

貴重なご意見ありがとうございます。

ちょっと補足の説明にもなるかもしれないんですが、今回こちらのしごと部会で開催しました事業所意見交換会、これは前から続いているものではあるんですけれども、この趣旨は、事業所間での、この横の顔の見える関係をつくることで、ネットワークができたり、いろんな販売会をしようとか何かそういった活動になっていたり、また、自分のところの事業所の支援内容がこれでいいのかといろんな不安を抱えながら事業所さんは活動されているんですけども、その部分を率直に話ができる、そういった強みの部分を主として開催してるものになります。

ただおっしゃるように、他市町では、事業所の説明会などがあって、事業所のプレゼンテーションと、あとはそこを利用したいと希望するご本人、ご家族さんとのマッチングの機会を設けているような場所もあります。

実は他市町で活動していたときには、経験がありまして、そこでいろんな検討をしたんです。その時に、事業所がプレゼンテーションをして、そこに一堂にご希望の方が聞きに来られる。それを聞いて、そのあとまた個別でお話をするみたいな活動をしたときには、時間にちょっと限界があって事業所数が圧倒的に少なくなってますね、ただ事業所のプレゼンテーションなので、こんなことしてますよというのがすごい多くの方に1回で伝わる。そんな強みもありました。

またそれとは別に今回育成会さんが活動されてるような、個別のブースを設けて、直接そのブースに相談に行くというような活動があるんですけれども、そういったところで、いかに多くの事業

所の情報が、いかに多くの希望されてる人とマッチングしていくのか。その活動につきましては本当に、この加古川市で、どういったニーズがあって、どういった活動が本当に効果的で必要とされるのという、その検討のところから始めていく必要があるというふうに思います。

また、貴重なご意見いただきましたので検討していきたいと思います。

ありがとうございました。

[会長]

はい、ありがとうございます。

どうしても一団体での取り組みとなると、限界があるかと思いますので、ぜひ基幹相談支援センターを中心に横の繋がりでやってください。行政の方もよろしくお願いします。

他はよろしいでしょうか。

その他特にないようですので、先ほどの報告の内容を踏まえまして、来年度も引き続き活動を進めていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

議事 [3] その他

《意見交換なし》

3 閉会

以 上